川岸学園整備室

令和7年3月　編集・発行
岡谷市教育委員会
川岸学園整備室

川岸学園NEWS

過去のNEWSは
こちらで読めます▼

～異年齢の子ども達がつながる新たな環境づくりをめざして～ 第10号

川岸学園整備の工事スケジュールと概算事業費を市議会に報告しました！

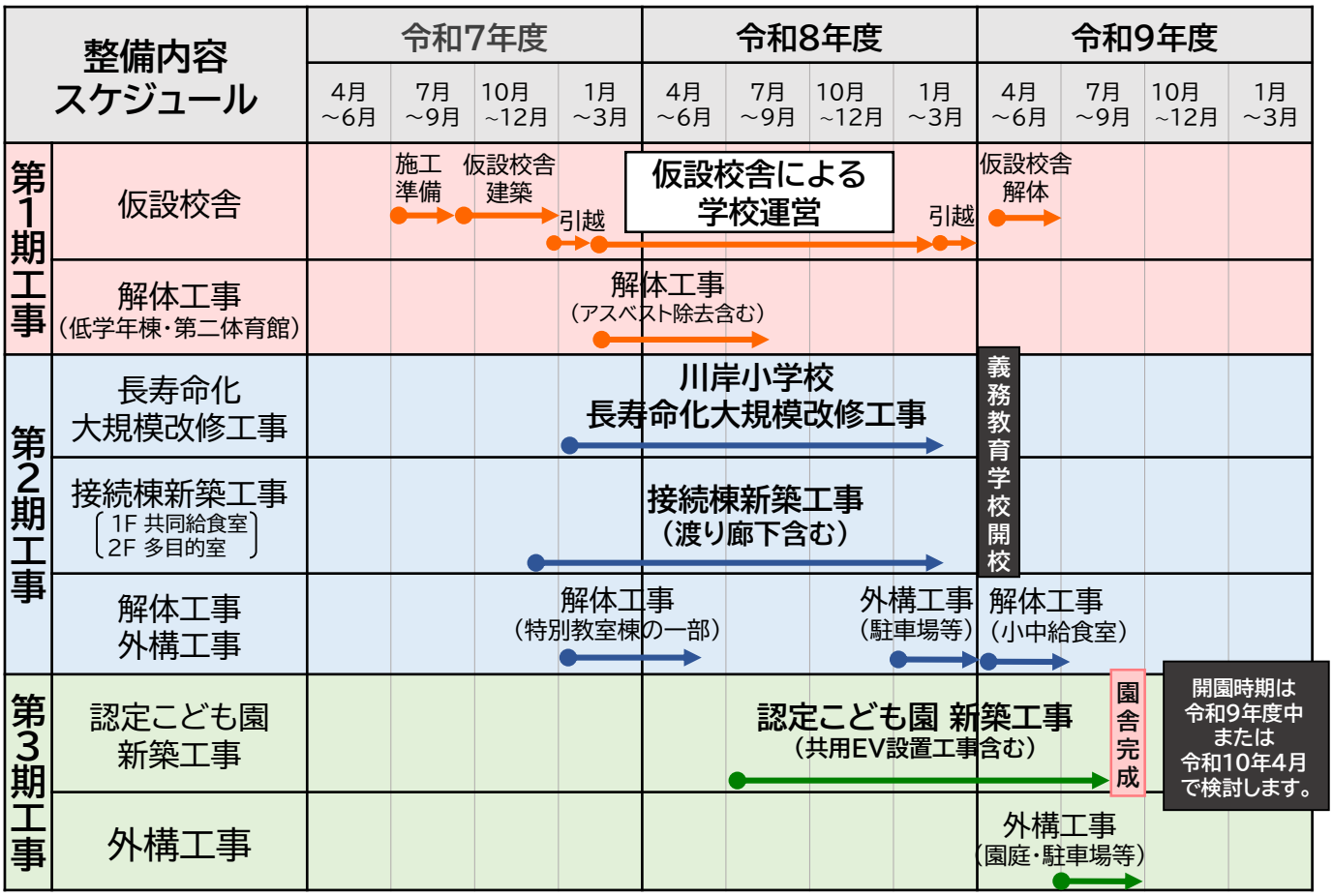
2月4日(火)の市議会全員協議会で川岸学園整備の工事スケジュールと概算事業費を報告しました。
今回の工事の進め方として、昨今の物価変動リスクの分散の視点と工事工程の流動性の確保等を考慮し、工事を大きく3つに分け、段階的に発注し、施工を進めます。

第1期工事は、仮設校舎の建築と認定こども園の建設地となる教室棟西棟などの解体となります。
第2期工事は、川岸小学校の長寿命化を図る大規模改修工事及び小中学校を接続する接続棟の新築、既存校舎の一部解体など、主に学校施設の整備となります。
第3期工事は、認定こども園の新築工事と学校と共用エレベーター設置工事を進めます。

工事に要する概算事業費は、設計業務や工事中の監理委託料等を含め、現時点で**約44億6千万円**を見込んでおり、財源の内訳は**国・県の補助金が約14億円、市債(借り入れ)が約27億6千万円**となり、事業全体に占める**一般財源は約3億円程度**になると見込んでいます。建築資材の高騰やアスベスト対策費用により、当初の想定事業費を上回っていますが、国の補助金や交付税措置のある有利な市債による財源確保に努めており、事業の実現可能性については心配ありません。

開校・開園について、**義務教育学校**は当初の予定通り、令和9年4月の開校に変更ありませんが、**認定こども園**は、当初の見込みより工期を長くする必要があることから、開園時期は令和9年9月以降、又は令和10年4月のいずれかとして、保護者の意向等を踏まえた上で今後検討してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

工事スケジュール等
の詳細はこちらを
ご覧ください▼



※工事スケジュールは令和7年1月時点における見込みであり、今後の経済情勢等により変更となる場合があります。

専門部会がいよいよスタートしました！

義務教育学校と認定こども園の開校・開園に向けて、ソフトの部分を検討、協議する専門部会が1月よりスタートしました！今回は1月末に開催した学校デザイン部会とこども園部会の会議の内容をご報告します。その他の部会についても、2月末までに第1回目の会議を開催しました。

なお、専門部会の会議の内容は市HPに掲載していますので、ぜひご覧ください。

各専門部会の会議内容は市HPに順次公開します。詳細はこちら▸

第1回学校デザイン部会（開催日 令和7年1月27日）

【部会での検討事項】

学校運営に関する調整（グランドデザイン、学校教育目標、教育課程、学年段階の区切り、学校経営方針、教職員の配置、校務分掌、年間指導計画、時間割等の検討、仮設校舎における時間割 等）

【会議の内容】

部会の役割と会議の進めかたを共有した後、小口校長先生から、たたき台となる「グランドデザイン（案）」と「川岸学園構想のめざすもの（案）」のご説明いただきました。その後、先生方から義務教育学校のイメージや川岸小、岡谷西部中学校の子どもたちの良さについて、話し合いを行いました。

【話し合いで出された主な意見など】

・開校を機に完璧な学校ができるとは考えていない。開校後も検討しながらより良い学校にしていきたい。
・川岸小は総合的な活動の時間に力を入れている先生が多い。チャレンジがたくさんできる学校にしたい。
・地域の方々が普段から入れるような、今以上に地域とつながりやすい学校にしたい。
・生徒同士でいがみ合うことがなく、とても良い生徒が多い。川岸地区の良さを継続した学校にしたい。
・グランドデザイン（案）に「川岸プライド」という言葉があり、とても素晴らしい言葉だと思う。この言葉を聞いて、何を思い浮かべるか、各学年の子どもたちに聞いてみたい。

第1回こども園部会（開催日 令和7年1月28日）

【部会での検討事項】

認定こども園に関する調整（教育保育理念・方針、教育・保育目標、通園手段の検討、統合園の交流活動、式典の検討、引っ越し等の調整）

【会議の内容】

①西部地区4園の園目標、保育園の特色の中で共通する『自然・天竜川・四季の変化、地域・協力的、友達・あいさつ』など認定こども園でも大切にすべきキーワードを確認しました。
②東堀こども園長の経験談から認定こども園の移行の際の配慮点などを共有しました。
③川岸保育園と成田保育園で行っている保育園同士や小学校、地域との交流会の内容を確認しました。

【話し合いで出された主な意見など】

・夏明保育園、つるみね保育園を休園するにあたり、4園で合同の交流会を行ったが、子どもたちはすぐに仲良くなり、その後の保育園生活も比較的スムーズに移行できたので、同様の取組は必要。
・子どもたちの交流も大事だが、保護者の中には不安や戸惑いの声も聞かれるので、説明会や交流の機会を設けていく。
・県内の認定こども園の先進事例を参考に、誇れるこども園をつくっていきたい。
・例えば保護者会のあり方などをみても、各園で運用が異なる。早い段階から調整すべき項目の把握を始めるべき。

【保護者の皆様へ】
認定こども園に関する保護者向け説明会は、令和7年度以降に実施を予定しております。詳細が決まり次第、お知らせします。